

金沢大学

# 資料館だより

第 3 号

平成 4 年 3 月 25 日 発行



## 陶磁器紹介

鳥獸陽刻文花瓶

口径 15.0cm

高さ 34.0cm

曉鳥氏寄贈

(備品番号 480)

金沢大学資料館  
The University Museum



\* 資料館収蔵陶磁器類カラー写真紹介 \*

〈一部実測図を掲載〉



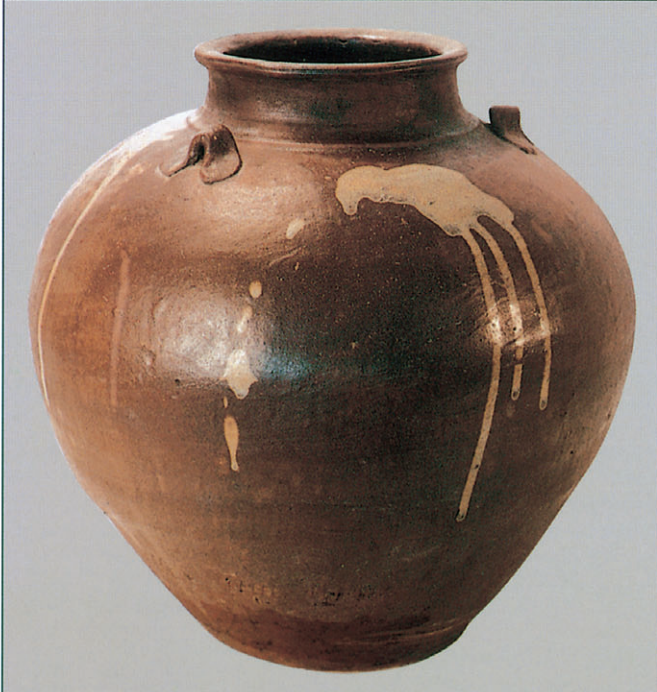
← 九谷花瓶 (石川)  
高さ、31.5cm

↓ 瀬戸焼草花文徳利 (愛知)  
高さ、28.0cm



↑ 瀬戸焼繪瀬戸花瓶 (愛知)  
高さ、27.5cm

↓ 瀬戸焼三耳大壺 (愛知)  
高さ、33.0cm



↓ 常滑焼朝顔口花立 (愛知)  
高さ、18.0cm







←伊万里焼日の丸雲文德利（佐賀）高さ、28.5cm



←籠入花生（台湾）高さ、二三・五cm



←籠入花生（台湾）高さ、二六・〇cm

↓萩焼白釉德利（山口）高さ、29.0cm



←有田焼草花絵德利（佐賀）高さ、二七・〇cm

→瀬戸焼芋銭絵德利（愛知）高さ、二四・〇cm







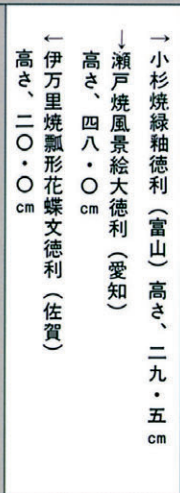
← 志戸呂焼斑文花生 (静岡岡) 高き、二四・五 cm



→ 瀬戸焼草花文大壺 (愛知) 高き、三六・五 cm



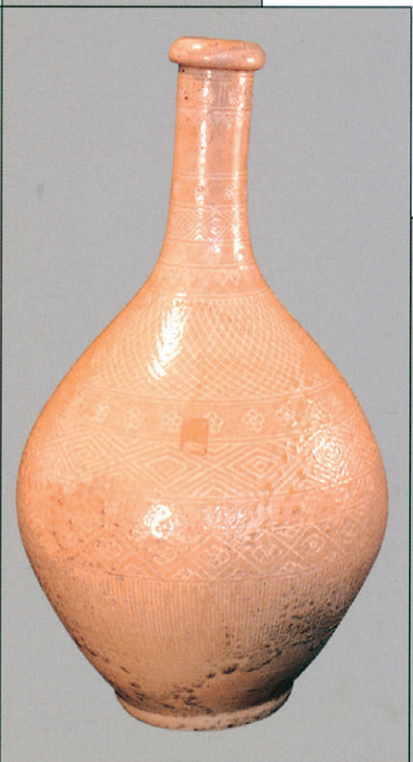
← 伊万里焼瓢形花蝶文德利 (佐賀) 高き、二〇・〇 cm



→ 小杉焼緑釉德利 (富山) 高き、二九・五 cm  
↓ 瀬戸焼風景絵大德利 (愛知) 高き、四八・〇 cm



→ 瀬戸焼瓢形瓶 (愛知) 高き、二六・〇 cm  
↓ 高田焼三島象嵌大德利 (熊本) 高き、五〇・五 cm



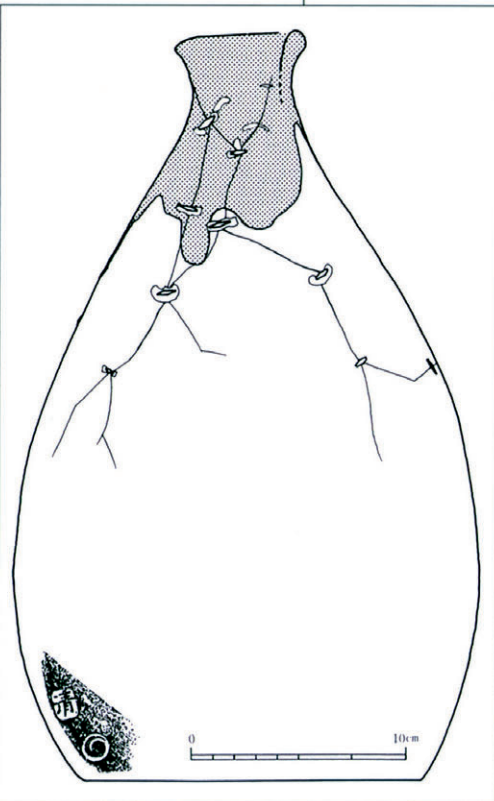
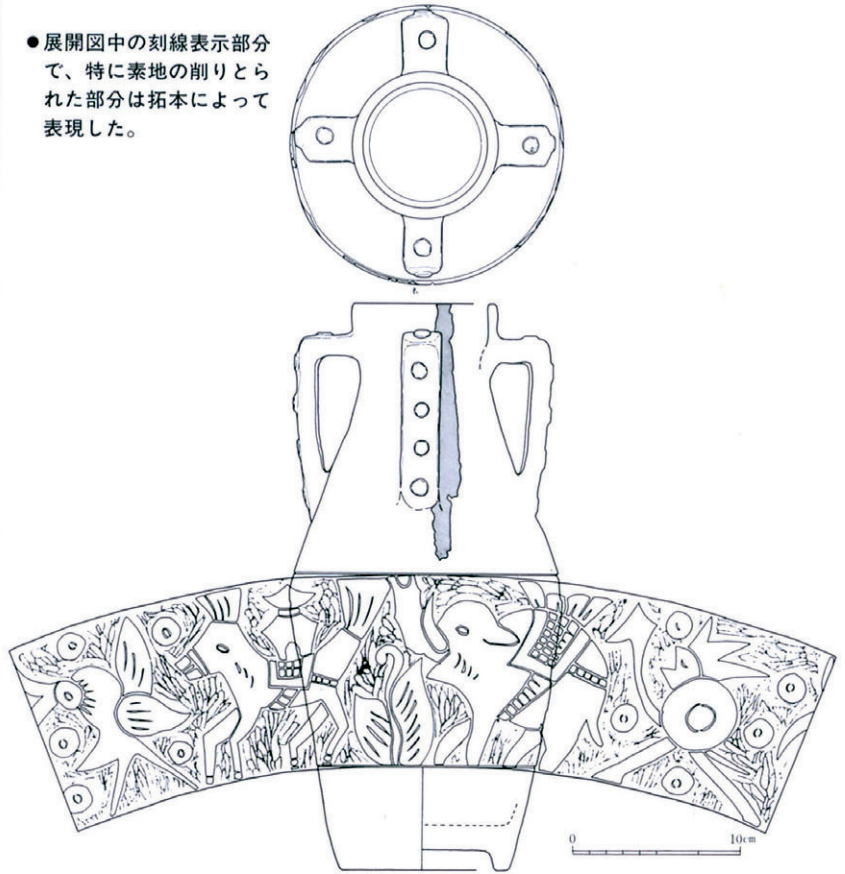




↑鳥獸陽刻文花瓶（琉球）  
高さ、34.0cm

→実測図。陽刻文展開図。  
素地を削りとって鳥獸文  
を陽刻した特殊なもの。

●展開図中の刻線表示部分  
で、特に素地の削りとら  
れた部分は拓本によって  
表現した。

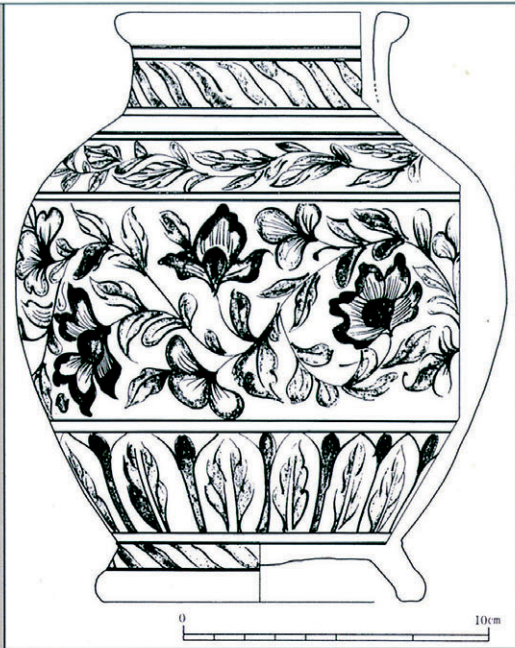


←右の実測図。破損をかすがいで補修している。  
及び記号を示す。左下拓本は、底部に見られた印字

→信楽焼大徳利（滋賀）高さ、三六・〇cm

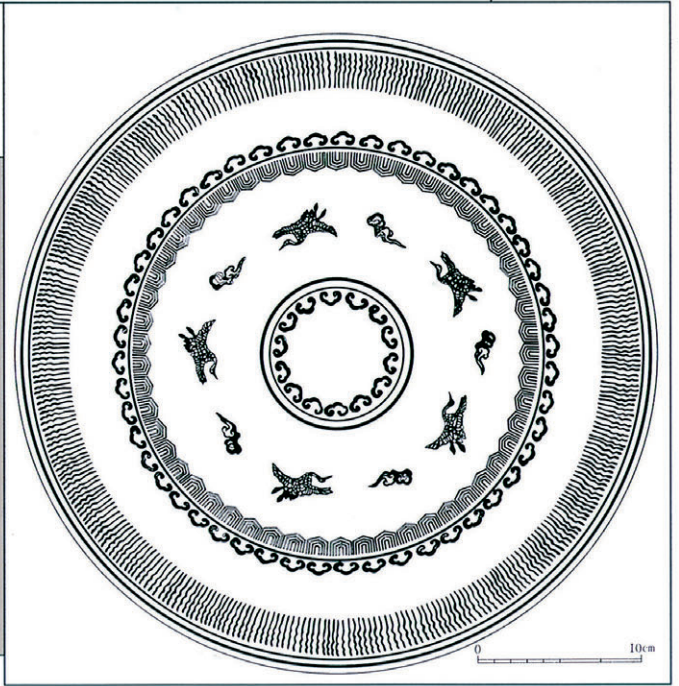






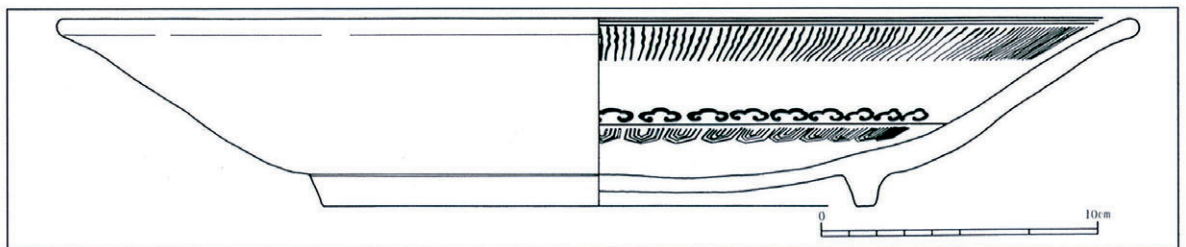
←草花文広口壺の実測図。

↑草花文広口壺（イラン）高さ、19.0cm



↑八代焼鳥文大皿（熊本）径、39.5cm、高さ、6.0cm

↙実測図。大皿の内面にユニークな文様を配し、雲鶴を交互に五個ずつ円形に配している。







← 高取焼斑釉三耳壺 (福岡) 高さ、三五・〇 cm  
→ 高取焼褐釉花瓶 (福岡) 高さ、二七・〇 cm



↑ 二川焼蓮花文鉢 (熊本) 高さ、10.0cm



→ 九州窯海崩釉壺 (福岡) 高さ、24.0cm



← 二川焼斑釉片口壺 (熊本) 高さ、三〇・〇 cm

→ 二川焼草文瓶 (熊本) 高さ、二三・〇 cm

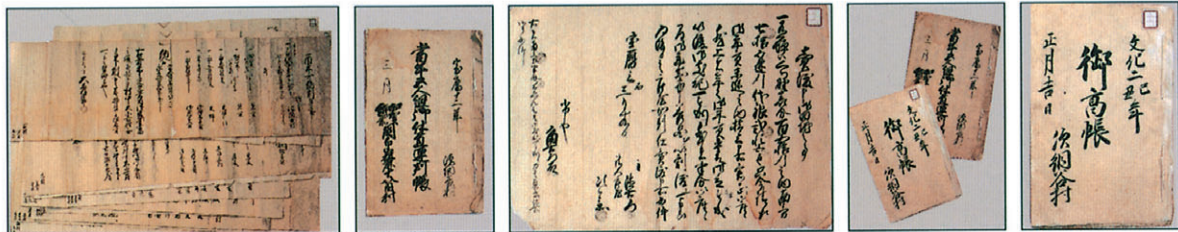




# 金 沢 大 学 資 料 館 彙 報

## 〈須納谷村の小中屋文書が整理され、総目録が完成した〉

資料館報第2号記載の「小中屋文書」は、取蔵以来、鋭意整理、分類に勉めるとともに破損部分の補修を行った結果、約一年の歳月を経て、完全目録の作成に達した。公開までには、なお旬日を要するが、新年度早々にも展示し一般の供覧に供したい。古文書の解読には、文学部教授高沢裕一、同助手野節子両氏に負うところが大きかった。（下の写真は小中屋文書の一部）。



## 〈教育学部所属の美術作品二点が、資料館に収蔵された〉

金沢大学資料館では、平成3年度、第2回運営委員会で寄贈申し入れのあった教育学部美術教室の二点の美術作品について、小委員会を設置し、種々審議を行った結果、これら作品を資料館に収蔵することを決めた。一点は、「裸婦」(高さ175cm 石膏着色)と題される石膏像で、米林勝二氏作。昭和34年に製作され、第二回日展に出品された作品で、若い女性の生命感を的確な肉付け技法によって、バランスよく生き生きと表現した秀作である。他の一点は、「墮天使」(高さ50cm ブロンズ)と名付けられた塑像で、郡司和男氏作。材質を巧みに活かして、人間の挫折感を美事に造形化した佳作である。単純化された頭部や、胸から腰にいたるふくよかな肉付けには、温かな人間性を感じられるとともに内部からの痛々しいまでの訴えかけが見られ、小品ながら充実した情念が見る者の胸をうつ(右の写真)。

## 〈平成3年度金沢大学資料館運営委員会〉

第1回。平成3年5月9日開催。◎平成3年度共通事業費事業計画(案)について審議し、原案通り了承された。◎「資料館だより」の充実について意見の交換があった。

第2回。平成3年7月12日開催。◎平成3年度の資料館経費事業計画案が承認された。◎教育学部美術教室から彫刻作品二点について寄贈申し入れがあり、松村委員から説明があった後、受け入れに関する小委員会を設置することが決められ、委員は、委員長に一任することが了承された。

平成3年11月6日。第1回小委員会開催。小委員会委員は、玉井龍象教授、松村敏助教授(以上、本委員会委員)、今井治男教授(教育学部)、山瀬晋吾先生(付属中学校)の四名で構成され、委員長は玉井教授に決まった。平成3年11月20日。第2回小委員会開催。彫刻作品の寄贈に関し審議され、資料館への収蔵が決められ、運営委員会へ報告することが了承された。

第3回。平成3年12月25日開催。◎彫刻作品の寄贈について審議された。玉井小委員会委員長より、審議結果について報告され、「教育学部美術教室収蔵彫刻作品検討小委員会答申」を了承し、協議の結果、資料館に受け入れることが決められた。

第4回。平成4年3月13日開催。貞末資料館長の退職に伴う残任期間の館長の選任について、学長の提案を了承し、今井治男教授(教育学部)を資料館長とすることを了承した。



上、「裸婦」  
下、墮天使

## 金 沢 大 学 資 料 館 だ よ り < 第 3 号 >

発行日	平成4年3月30日	印刷所	株式会社 橋本 確文堂
発行所	金沢大学資料館	〒921	金沢市増泉4-10-10 Tel.0762-42-6121
〒920-11	金沢市角間町 Tel.0762-64-5215		